

きれい★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



開閉器の底部に錆を発見、 停電事故を未然に防止

点検対象	学校	点検地区	帯広市
きれいポイント	転勤で赴任して点検担当することになったお客さまの電気設備でのことです。 初めて月次点検に訪問した時、高圧柱上区分開閉器（PAS）の底部の塗装が剥がれ、錆が発生しているのが確認できました。発生している錆の状態も気になりました。 1997年製で、製造後19年経過している開閉器でした。		

■事故概要と防止対策

携行していたデジタルカメラで高圧柱上区分開閉器の底部の状態を撮影し、お客さまに画像を見させていただきながら発錆の進行状況を説明しました。

このままでは開閉器に穴が開いてしまい、内部に水分が侵入すると絶縁性能の低下を招き、全停電に至ってしまいます。

停電事故は、お客さまの業務に多大な損失を与え復旧までの時間や費用が予想外のものになることでしょう。

早速、写真帳と提案書を作成し、更新工事のお願いをしました。その後、更新計画が進み、無事工事が完了しました。



塗装が剥がれ、めくれた箇所に錆が発生した様子



■技術者からのワンポイントアドバイス

この開閉器は、電力会社からお客さま電気設備へ電気を引き込む入口に設置されている重要な設備です。

屋外に設置されているので風雨、塩害等の厳しい環境にさらされます。カラスが巣を作る場合もあります。

日常点検の中で異変を発見し、危険と感じたら手を触れず、弊協会へ連絡、相談をお願い致します。



帯広支部 保安3課
片山 新一